学校番号	１００７

令和３年度　工業科

教科	工業	科目	ソフトウェア技術	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	ソフトウェア技術						
使用教科書	ソフトウェア技術（コロナ社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在のパソコン環境の中で、１年生で学習してきたBASICの命令を残しながら、新しいWindows の機能も取り入れたVisual Basicを昨年に続けて学習する。色々なコントロールの使用を学習して、基本的なプログラミングの技術を身につけることを目標とする。また、実際に活用する能力と態度を育てる。

２　学習の到達目標

コンピュータのソフトウェアに関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。
目的とする動作をするプログラムのフローチャートを作成し、プログラミングする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ソフトウェア技術に関する課題について関心を持ち、その改善･向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	ソフトウェア技術に関する諸課題の解決をめざして、思考を深め、基礎的・基本的な技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	ソフトウェア技術に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、プログラミングを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	ソフトウェア技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会におけるソフトウェア技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期(前半)	導入・オペレーションシステム・OS	・Windows の基本的な操作の学習 ・Windows 画面の名称の学習 ・Visual Basic の基本的な操作の学習 ・ファイルの呼び出しと保存の学習 ・色々なコントローラーの利用を通して、使用方法を学習する ・例題等のプログラムを参考にして、様々なプログラムの作成	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:プログラミングに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。また、教員やグループ員に適時、的確に状況を報告し、安全に作業を進めることができる。 b:製作されたものの特徴・特性や整備前の状態を調査して判断し、正しい知識と技術により整備・調整することが身に付いている。 c:プログラミングについて、基礎的・基本的な技術を身に付けるとともに、作業工程を合理的に計画することができている。 d: プログラミングに関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート　等
前期(後半)	練習	・色の作成やマウスを利用して、直線や円を描く	○	○	○	○	a:プログラミングに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。また、教員やグループ員に適時、的確に状況を報告し、安全に作業を進めることができる。 b:製作されたものの特徴・特性や整備前の状態を調査して判断し、正しい知識と技術により整備・調整することが身に付いている。 c:プログラミングについて、基礎的・基本的な技術を身に付けるとともに、作業工程を合理的に計画することができている。 d: プログラミングに関する基礎的・基本的な知識を身に付ける	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート　等

後期(前半)	プログラミング	・基本的なプログラムの作成 ・テキストファイルの読み込みと編集 ・シーケンシャルファイルの作成 ・ランダムファイルの学習 他のソフトウェアへの利用についての学習	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:プログラミングに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。また、教員やグループ員に適時、的確に状況を報告し、安全に作業を進めることができる。 b:製作されたものの特徴・特性や整備前の状態を調査して判断し、正しい知識と技術により整備・調整することが身に付いている。 c:プログラミングについて、基礎的･基本的な技術を身に付けるとともに、作業工程を合理的に計画することができている。 d: プログラミングに関する基礎的･基本的な知識を身に付け、現代社会における。	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート　等
後期(後半)	動画加工	・画像ファイルなどを利用して動きのあるものを作成する	○	○	○	○	a:プログラミングに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。また、教員やグループ員に適時、的確に状況を報告し、安全に作業を進めることができる。 b:製作されたものの特徴・特性や整備前の状態を調査して判断し、正しい知識と技術により整備・調整することが身に付いている。 c:プログラミングについて、基礎的･基本的な技術を身に付けるとともに、作業工程を合理的に計画することができている。 d: プログラミングに関する基礎的･基本的な知識を身に付け。	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート　等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。